



2012年11月8日

各 位

会社名 ハリマ化成グループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 長谷川吉弘
(コード番号 4410 東証第一部、大証第一部)
問合せ先 広報グループ長 深井 稔
TEL 06-6201-2477

スウェーデンにおけるトールロジン生産事業への出資に関するお知らせ

ハリマ化成グループ株式会社は子会社であるローター社（三菱商事株式会社との合弁会社、本社オランダ）を通じて、スウェーデンで粗トール油からバイオディーゼルの脂肪酸を製造しているサンパイン社に出資し、共同でトールロジンの生産事業を開始することで合意しましたのでお知らせします。

概要については下記のとおりです。

記

1. 出資の目的

ハリマ化成グループは主要原料であるロジンに関して、日本及びニュージーランドにおいて粗トール油の蒸留によりトールロジンの生産を行っています。一方、中国、インドネシア、ベトナム及びブラジル、アルゼンチンにおいて、ガムロジンの生産、調達を行っており、トールロジンとガムロジンの両方を原料として使用しています。

サンパイン社は現在、粗トール油よりトール脂肪酸を生産し、バイオディーゼルの原料として販売しています。この粗トール油からバイオディーゼルの原料となる脂肪酸を分離する過程では、ロジン成分を多く含んだトールピッチが副生されますが、サンパイン社はこれを燃料として使用してきました。今回のビジネスモデルは現在、燃料として燃焼されているロジン成分を多く含むトールピッチからトールロジンを蒸留分離し、当グループのローター社に供給するものです。サンパイン社はより付加価値の高い製品として販売ができるとともに、ローター社は欧州地域で主要原料であるトールロジンの安定的な確保が可能となります。

これによりローター社は、主要事業であるインキ用樹脂および粘接着剤用樹脂の欧州地域での販売拡大を図ってまいります。

2. 出資に至った経緯

サンパイン社は2006年に設立された新鋭の企業です。サンパイン社が製造、販売しているバイオディーゼル用脂肪酸を使ったバイオディーゼルは、松由来の非可食原料由来で再生可能なことから、グリーンエネルギーとしても注目され、スウェーデンでは急速に販売を拡大しています。

ローター社及びサンパイン社は共同で、これまで燃料として使用されていたトールピッチ中のロジン成分を蒸留により抽出し、有効活用することの検討を行ってきました。その結果、ローター社がサンパイン社に出資し、サンパイン社がトールロジン蒸留設備を建設、ローター社へ安定的にトールロジンを供給する契約を締結しました。

これによりローター社は、主力市場である欧州において、主原料であるトールロジンを安定的に確保できることとなります。

3. 出資規模と生産能力と生産開始時期

ローター社出資規模	: 非公表
CTO処理能力(予定)	: 160,000Mt/年
生産開始時期	: 2014年初頭

4. 連結業績への影響について

現時点では、今期連結業績に与える影響は軽微であります。

以上

【参考資料】

ローター社 Lawter B.V.

所在地：オランダ アムステルダム市

代表者：牧野 信夫 (Chairman & CEO)

会社設立：2011年1月

URL：www.lawter.com

主な事業の内容：ロジン関連製品（印刷インキ用樹脂、粘接着剤用樹脂、合成ゴム用乳化剤、テレピン精留油等）の研究開発、製造、販売

サンパイン社 SunPine AB

会社名：SunPine AB

所在地：スウェーデン・ピーテオー市

代表者：Magnus Heimburg (CEO)

会社設立：2006年（2010年稼働開始）

資本金：5.9百万スウェーデン・クローナ

売上高：597.7百万スウェーデン・クローナ（2011年）

URL：www.sunpine.se

主な事業の内容：バイオディーゼル用脂肪酸の製造ならびに販売

粗トール油 (Crude Tall Oil)

パルプ製造工程において、クラフトパルプ法（松材のチップをアルカリ蒸解してパルプを製造する方法）によって残った黒液からリグニンなどの成分を分離した後、酸分解したものが、粗トール油（樹脂分を含んだ液状物質）です。

この液状物質を、蒸留することによってロジンと脂肪酸、蒸留トール油が得られます。

*「トール(Tall)」はスウェーデン語で「松」を意味し、「トール油」は「松の油」です。ハリマ化成は1958年に国内初となるトール油精留事業（兵庫県加古川市）を開始して以来、トール油のパイオニアとして今日に至っています。現在、子会社のハリマエムアイディ（株）（兵庫県加古川市）が国内で唯一、トール油精留事業を行っており、年間約6万トンの粗トール油を原料に、約2万トンのトールロジン、同量のトール脂肪酸を生産しています。

トールピッチ (Tall Oil Pitch)

粗トール油に含まれる高沸点成分の黒い液体。粗トールの蒸留プロセスでは、通常は、ロジン、脂肪酸を含みませんが、粗トール油からバイオディーゼル用脂肪酸のみを分離した場合、残渣であるトールピッチにはロジン成分が含まれていません。

トールロジン (Tall Oil Rosin)

ロジンは松やにとも呼ばれ、松から得られる天然樹脂です。主にアビエチン酸などの異なる樹脂酸で構成されています。粗トール油を原料に得られたロジンがトールロジンです。

バイオディーゼル燃料：

菜種油、大豆油などの生物由来油を主原料として製造されるディーゼルエンジン用の代替液体燃料の総称です。原料となる油脂からメチルエステル化などの化学処理を施し、ディーゼルエンジンに使用できるようにしています。

粗トール油由来のバイオディーゼルは、非可食原料由来であり、従来の軽油に20%程度まで混合してディーゼルエンジン用燃料として使用できるため、大幅なCO₂削減手段の一つとして注目されています。

[背景]

EUは2009年6月、再生可能エネルギー指令により、域内の最終エネルギー消費に占める再生可能エネルギーの割合を、2020年に20%にするという目標の達成を義務とし、加盟国も導入目標達成が義務化されています。

加盟国はバイオマス資源を活用して、目標を達成しようとしており、その中でもスウェーデンは2020年の最終エネルギー消費量に占めるバイオディーゼルなどの再生可能エネルギーの割合の目標が49%と、加盟国の中で最も高くなっています。